

あい 愛 & あい 会

- AI & AI -

FUKUOKA NURSING FEDERATION

福岡県看護連盟だより

2025年9月22日発行

<http://www.fukukanren.jp>

Vol. **97**

会員数
(2025年8月末現在)

6,946名

日本看護連盟
シンボルマーク



Contents

- | | | |
|---|---|-------------------------|
| 02. 会長挨拶/
福岡県看護協会 新会長挨拶 | 04. 2025年度日本看護連盟通常総会報告
/2025年度福岡県看護連盟常総会報告 | 09. 福岡県看護連盟組織図 |
| 03. 福岡県看護連盟会長表彰/自由民主党定期党大会表彰/
自民党福岡県連年次大会表彰/
2025年度看護管理者トップセミナー研修報告 | 05. 2024年度決算報告/2025年度予算報告 | 10. 看護職員活動報告 |
| | 06. 2025年度福岡県看護連盟事業計画 | 12. 第27回参議院議員通常選挙を振り返って |
| | 08. 2025年度新旧役員紹介 | 14. 青年部の窓 |
| | | 16. 私たちの支部活動/編集後記 |

ご挨拶

平素より看護連盟活動に、ご支援ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

去る6月29日福岡県看護連盟通常総会が多くの来賓の方々を、お迎えし開催されました。代議員324名と役員など総数425名の出席のもと、無事盛会のうちに終了することができましたのも、ひとえに皆様のご協力のおかげと深く感謝申し上げます。

さて、皆様も日々のニュースなどで感じておられるかと思いますが、今日本の政治は様々な課題に直面しています。物価高騰、少子高齢化、社会保障制度の持続性、外交・安全保障・環境の変化など解決すべき問題は山積しています。こうした中で私たち一人ひとりが現状に無関心でいるのではなく、地域から、現場から声を上げ政治を動かしていくことが求められています。その中でも特に医療・看護を取り巻く環境は、大きな転換期を迎えています。少子高齢化の加速、地域包括ケア体制の拡充、災害時医療の備え、働き方改革の推進など、看護職が果たす役割はますます重要になっています。そうした中、看護の専門性を社会に正しく伝え、看護職の声を国の政策に反映させていくことはますます必要不可欠になっています。そこで今、改めて強調したいことは看護協会と看護連盟の連携協力体制の強化です。それぞれ役割は異なりますが、目指すところは同じ、「看護職が安心して働き続けられる社会」「患者にとって安心、安全な医療現場の実現」です。今後はこの両輪が、より密接に連携することで現場の声を政治へと届け実行力のある政策を生み出して行く必要があります。

看護の未来は私たち自身の手で作るものです。ともに声を上げ、ともに行動し、協力しあいながら3名の看護職国会議員とともに、より強い看護の力を社会に示していきましょう。今後とも皆様のご理解とご支援を心よりお願い申し上げます。



福岡県看護連盟会長
久富 瑞穂

福岡県看護協会 会長就任によせて

このたび福岡県看護協会長に就任いたしました濱田です。私は、看護師として臨床現場で40年間勤務した後、昨年令和6年6月より常任理事として協会の組織運営に携わってまいりました。そのなかで、県内の看護職の方々が、臨床現場・教育機関・行政・地域等において、その専門性を発揮し看護に取り組んでおられることを身近に知るとともに、改めて看護職が社会から求められるやりがいのある素晴らしい職であることを実感いたしました。

全世代型地域包括ケアシステムが推進されるなか、人々が健康に、又は病を持ちながらも住み慣れた地域で、自分らしく生きようとする力を引き出すのが看護の力であり、求められるものであります。今年2025年は、団塊の世代と呼ばれる人々のすべてが後期高齢者となり、ますます少子高齢社会へと進展していきます。医療的ケアを必要とする高齢者が増え、ケアの中心は病院から在宅へと着実にシフトしていくなかで、地域医療を支える看護職の役割も多岐にわたって求められていきます。役割を求められる看護職が、看護を魅力あるものと感じ、誇りを持ちながら働き続けられるように、職能団体として看護職の支援に努めていきたいと思っております。連盟の会員皆様方には、これからも協会への変わらぬご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



公益社団法人福岡県看護協会
会長
濱田 正美



おめでとうございます



■2025年度福岡県看護連盟会長表彰

大塚 まり子 個人会員
 西岡 順子 株式会社麻生 飯塚病院
 倉智 恵美子 株式会社麻生 飯塚病院
 矢治 幸子 社会医療法人 製鉄記念八幡病院

草場 俊哉 久留米大学医療センター
 市川 真弓 一般財団法人平成紫川会 小倉記念病院
 木村 文男 済生会 八幡総合病院

(順不同・敬称略)

■第92回 自由民主党定期党大会表彰

野上 昌代 一般財団法人平成紫川会 小倉記念病院
 空閑 美智子 社会医療法人 雪の聖母会 聖マリア病院

金納 信江 社会医療法人 雪の聖母会 聖マリア病院

(順不同・敬称略)

■2025年 自民党福岡県連年次大会表彰

●優秀党組織

久留米大学病院

●優秀党員

水城 須美子 個人会員
 渡辺 千代子 医療法人財団はまゆう会 新王子病院
 中井 照代 社会医療法人雪の聖母会 聖マリア病院

吉村 麻紀子 株式会社麻生 飯塚病院
 秋吉 百合子 社会医療法人共愛会 戸畑共立病院

(順不同・敬称略)



2025年度 看護管理者トップセミナー研修報告

テーマ:人口減少社会に求められる看護政策

講師:文部科学大臣 衆議院議員 あべ 俊子



福岡5-2支部 今村 朋子

2025年5月31日(土)に文部科学大臣の衆議院議員あべ俊子氏を講師に迎え、「人口減少社会に求められる看護政策」をテーマに2025年度看護管理者トップセミナーが開催され177名が参加しました。また、セミナーに先立ちあべ俊子大臣との懇談会が行われました。

懇談会では、看護連盟関係者の他に看護協会役員・看護地方議員・大学関係者の31名が参加され、看護・教育現場で感じている問題を直接伝える機会を頂きました。あべ大臣は質問に対して、しっかり聴き入れてくださり、わかりやすく返答してくださいました。

中でも印象に残ったことは、看護人材確保問題に関して、看護師が地域で働き続けるために結婚・出産・子育てがしやすく教育環境が揃っている地域であれば、住み続けたい地域となり看護師の流出もなくなるのではないかと話されました。人材確保に関しては、もはや施設単位ではなく地域包括システムとして考える必要があるのだと気付かされました。

トップセミナーでは、2020年から2050年までに20～64歳の人口は1800万人減少する見込みを示され、少子化時代での市場縮小と人手不足、そして

若者の地方からの流出予測も示されました。すでに看護師不足が叫ばれている中、看護師の離職理由はライフサイクルにあること・若者のウエルビーイングに対する関心が高まり働き方が変化している事を話されました。また、AIが写真を解析し皮膚科の診断が可能になっている事や過疎・遠隔地域でのICTを活用した小規模(看護)多機能モデル事業が検討されている事、電子カルテの医療機関共有化が検討されていることも伺うことができました。最後にあべ大臣は医師において総合診療医育成の必要性を語られました。加えて看護師も疾患看護ではなく症候学が必要であり、患者の症状を適切に捉え、伝えられる能力を養うことが必要ではないかと話されました。

今回の研修では、人口減少が進む中、看護管理者として貴重な人材をどのように確保・維持するのか、看護師の役割をどのように発揮していくか、するべきことは何かを問われた気がしました。遠い存在だと感じていた大臣が看護現場の問題点を同じ目線で考え政策として取り組んで頂けている事に感謝し、看護師議員を国会に送り届ける活動の意味を再認識いたしました。



2025年度 日本看護連盟通常総会 報告



前青年部委員長 宮野 貴紀

2025年6月6日ザ・プリンスパークタワー東京で日本看護連盟通常総会が開催されました。

高原静子会長の開会挨拶後、日本看護協会高橋弘枝会長、自民党石破茂総裁、あべ俊子文部科学大臣、そして看護職国会議員の方々が祝辞を述べられました。

その後議長団選出が行われて報告事項に移り、2024年度の会議・委員会報告、活動報告、事業報告等が行われました。

2025年度のスローガンは「届けよう看護の声を！私たちの



未来へ」に決定し、事業計画が発表されました。

退任役員、新任役員報告後綱領宣言があり連盟歌の後閉会となりました。

総会閉会后、看護政策実現のための総決起大会が開催されました。

最後は青年部によるガンバローコールで締めくくり、会は閉会となりました。

2025年度 福岡県看護連盟通常総会 報告



青年部 副委員長 佐藤 陽介

令和7年6月29日14時より、福岡リーセントホテル2階「舞鶴の間」にて、2025年度福岡県看護連盟通常総会が開催されました。

多くの来賓の方々をお迎えし、温かい応援の祝辞をいただきました。代議員330名中324名が参加され、2024年度の事業・決算報告、2025年度の事業計画・予算が報告され、すべて承認されました。

冒頭の会長挨拶では、看護職を取り巻く環境の変化に触れつつ、連盟活動の重要性と、会員一人ひとりの力が看護の未来を支えるとの力強いメッセージが述べられました。

また、2025年度スローガンとして「届けよう看護の声を！私たちの未来へ」が発表され、看護職の声を政策に反映させる決意が新たに示されました。

総会后には、総決起大会が開催されました。

今総会を通じ、連盟の使命と役割を再確認するとともに、未来へつなげる力を感じる一日となりました。

2025年度 福岡県看護連盟総会の様子



松山まさじ 参議院自由民主党幹事長
参議院議員



服部誠太郎
福岡県知事



藏内勇夫 全国都道府県議会連合会会長
福岡県議会議長 世界獣医師会次期会長



原口剣生 自由民主党福岡県支部連合会
常任相談役



松本園寛
自由民主党福岡県支部連合会会長

看護職を常に応援してくださっている来賓の方々にご祝辞をいただきました

※写真左から祝辞順



受付



来賓受付



セキュリティチェック



福岡県看護連盟久富会長 日本看護連盟近藤幹事長 挨拶



司会



書記



福岡県看護連盟会長賞表彰者



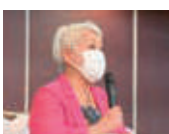
日本看護連盟総会報告



議長団



会計監査報告



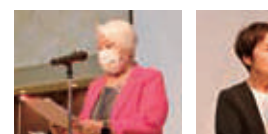
顧問 名誉会員 顧問



福岡県看護連盟退任役員挨拶



福岡県看護連盟新任役員挨拶



綱領宣言



連盟歌斉唱

2025年度 福岡県看護連盟通常総会報告

報告1 2024年度決算報告 2025年度予算報告

報告2 2025年度 福岡県看護連盟事業計画

報告3 2025年度新旧役員紹介

報告4 福岡県看護連盟組織図

報告1

2024年度決算報告 2025年度予算報告

2024年度 決算報告

自:2024年4月 1日
至:2025年3月31日

単位:円

収入の部	項 目	2024年度 予算額	2024年度 決算額	差 異	備 考
	I 会 費	17,500,000	17,852,668	352,668	会費(7,167名・賛助会費等) 会費振込手数料を控除した額
	II 本部助成金	15,000,000	20,778,905	5,778,905	会費還元金、運営費助成金 等
	III 研 修 会 費	0	0	0	研修会参加費
	IV 預 金 利 息	100	6,229	6,129	預金利息
	V 寄 付 金	0	0	0	
	VI 雑 収 入	0	18,540	18,540	幹旋販売リポート等
	前年度繰越金	20,220,470	20,220,470	0	
総 計		52,720,570	58,876,812	6,156,242	

支出の部	項 目	2024年度 予算額	2024年度 決算額	差 異	備 考
	I 会 議 諸 費	5,000,000	4,239,400	760,600	
	総 会 費	2,300,000	1,787,526	512,474	総会関係諸費
	支部長会費	1,000,000	829,049	170,951	総合役員会 他
	役 員 会 費	600,000	699,405	△ 99,405	三役会 県役員会
	委 員 会 費	1,100,000	923,420	176,580	委員会(広報・編集・青年部)看護政策懇話会
	II 事 業 費	28,000,000	19,282,260	8,717,740	
	組織活動費	5,000,000	4,641,328	358,672	組織内活動費・監査関係費 他
	組織対策費	7,000,000	4,794,358	2,205,642	本部会議・九州ブロック会議 等
	教 育 費	2,500,000	1,326,541	1,173,459	研修会講師謝金 研修会資料作成費 他
	渉 外 費	3,000,000	2,810,433	189,567	慶弔費、各級議員会合・セミナー等会費 出席費 他
	支部交付金	8,000,000	4,864,800	3,135,200	各支部活動費(会議 研修会 他)
	機関誌発行費	1,500,000	844,800	655,200	機関誌(年3回)
	寄 付 金	1,000,000	0	1,000,000	
	III 維持運営費	19,000,000	14,684,913	4,315,087	
	人 件 費	13,000,000	10,453,743	2,546,257	職員給与・役員手当、社会保険料 他
	需 給 費	6,000,000	4,231,170	1,768,830	事務所諸費 備品消耗品費 光熱水費 等
	IV 予 備 費	720,570	0	720,570	
	総 計	52,720,570	38,206,573	14,513,997	

2025年度 予算報告

自:2025年4月 1日
至:2026年3月31日

単位:円

収入の部	項 目	2025年度 予算額	備 考	2024年度 予算額	2024年度 決算額
	I 会 費	17,000,000	正会員6,800人+賛助会員	17,500,000	17,852,668
	II 本部助成金	15,000,000	会費還元金 本部会議出席費 等	15,000,000	20,778,905
	III 研 修 会 費	0	研修会参加費	0	0
	IV 預 金 利 息	6,000		100	6,229
	V 寄 付 金	0		0	0
	VI 雑 収 入	0		0	18,540
	前年度繰越金	20,670,239		20,220,470	20,220,470
総 計		52,676,239		52,720,570	58,876,812

支出の部	項 目	2025年度 予算額	備 考	2024年度 予算額	2024年度 決算額
	I 会 議 諸 費	5,000,000		5,000,000	4,239,400
	総 会 費	2,300,000	総会関係諸費	2,300,000	1,787,526
	支部長会費	1,000,000	総合役員会関係費	1,000,000	829,049
	役 員 会 費	600,000	三役会 県役員会	600,000	699,405
	委 員 会 費	1,100,000	委員会(広報・編集・青年部)看護政策懇話会	1,100,000	923,420
	II 事 業 費	27,700,000		28,000,000	19,282,260
	組織活動費	5,000,000	組織内活動費・OB会・青年部活動費 他	5,000,000	4,641,328
	組織対策費	7,000,000	本部総会・会議・政策集会(交流会) 施設訪問 九州ブロック(管理者研修会・青年部) 他	7,000,000	4,794,358
	教 育 費	2,500,000	県・支部研修会講師謝金 他	2,500,000	1,326,541
	渉 外 費	3,000,000	慶弔費 各級議員会合・セミナー等 会費 出席費 他	3,000,000	2,810,433
	支部交付金	8,000,000	支部活動費(会議 研修会 他)	8,000,000	4,864,800
	機関誌発行費	1,200,000	機関誌(年2回)	1,500,000	844,800
	寄 付 金	1,000,000		1,000,000	0
	III 維持運営費	19,000,000		19,000,000	14,684,913
	人 件 費	13,000,000	職員給与 役員手当 社会保険料 他(退職金積立金を含む)	13,000,000	10,453,743
	需 給 費	6,000,000	事務所諸費 備品・消耗品費 光熱水費	6,000,000	4,231,170
	IV 予 備 費	976,239		720,570	0
	総 計	52,676,239		52,720,570	38,206,573

目的	目 標	方 針	活 動		評 価 指 標
政治力・政策実現力の強化	目標 1 看護職国会議員の支援	1) 第27回参議院議員選挙における組織内候補予定者を全力で支援する 2) コンプライアンス(法令遵守)に基づく政治活動等の推進 3) 看護職国会議員との連携と協働 4) 看護職国会議員の確保	1) ① 第27回参議院議員選挙で、組織代表候補者の支援体制を整備 ② 第27回参議院議員選挙の総括を基に、次期参議院議員選挙の課題抽出と対策を検討する 2) ① 「選挙活動マニュアル」等の周知とその活用を推進する(三役会、事務担当者は本部のオンライン研修会に出席し、政治資金規正法等を読み、理解を深める ② 日本看護連盟主催、会長・副会長・幹事長・支部長合同会議(6月)後 3) ① 知名度向上のため、広報媒体(HP、SNS、LINE)などを積極的に活用する ② 看護連盟が支援する看護職国会議員の国政報告に定期的に参加し、議員活動を会員へ周知徹底する ③ 看護職国会議員のSNSを通じて活動を知り、支援する 4) ① 次期衆議院議員選挙に向けて該当者を支援する	する(三役会、県役員会、総合役員会、支部役員会) 課題抽出と対策を検討する 県役員会、総合役員会、支部役員会) ② 日本看護連盟主催、会長・副会長・幹事長・支部長合同会議(6月)後 法等を読み、理解を深める 活用する 加し、議員活動を会員へ周知徹底する ④ 研修会等の講師として、看護職議員を招聘する	1) ・得票数7000票以上 ・総括から課題抽出 2) ・①～③研修会参加状況 3) ・アンケート調査結果 ・HPアクセス件数 ・国政報告実績 4) 衆議員議員の当選
	目標 2 看護政策の実現	1) 日本看護連盟、福岡県看護連盟の政策実現力の強化 2) 現場の声の把握と改善 3) 看護教育機関との連携 4) 新興感染症対策の政策推進	1) ① 自民党厚生労働部会、厚生労働委員会等の委員や各級議員と連携を強化する ② 福岡県看護協会の重点施策について情報を共有する ③ 若者層の看護政策への関心や、政策提言力の強化を支援するために、オンライン・ハイブリッド等を活用して研修への参加を促す 2) ① 現場の声」入力窓口を周知徹底し、WEB調査に協力する ③ 政策提言内容及び制度改革状況は、タイムリーにHP、機関誌等で会員に周知する 3) ① 看護教育機関に「看護と政策」に関する講義を依頼し連携を強化する 4) ① 感染対策に関する現場の課題を日本看護連盟と関係国会議員等で情報共有する ③ 感染対策支援については、必要に応じて多職種連携で自民党県議団に要望する	② 県選出の国会議員や県議会議員の政策説明会へ参加し、職域団体として情報共有をはかる ② 「現場の声」調査の分析結果から、政策提言につなぐ具体的根拠を明確にして会員に周知する ② 看護学生の投票行動を促す依頼をする ② 福岡県看護協会と協力し、地方議会・地方行政へ要望活動ができるよう情報を共有する	1) ・政策説明会への参加状況 ・ブロック別政策セミナー、都道府県別会議 ・研修への参加状況 ・政策懇話会の実績(開催件数) 2) ・福岡県看護連盟HPアンケート結果 ・広報媒体活用件数の把握 ・要望件数と要望書の提出 3) ・政策懇話会の活用 ・看護教育機関との連携、情報交換 ・期日前投票等の投票率 4) ・新興感染症対策の現場への還元状況 ・ワンヘルス/ニューレジリエンスの推進
	目標 3 看護を支援する国会議員の確保と支援	1) 県選出の国会議員との連携強化	1) ① 県選出国会議員の政策フォーラム、国政報告会等に参加し、連携を図る ③ 県の看護政策に理解を示す国会議員への支援体制を強化する	② 福岡県看護連盟と国会議員との交流の場を持ち、看護政策必要性の理解を求める	1) ・職域活動実績(参加回数・参加人数) ・県通常総会出席者数 ・交流の場の開催と回数 ・自民党県連年次大会の代議員数
	目標 4 地方議会、地方行政への影響力の強化	1) 地方議員との情報交換と活動支援 2) 福岡県看護問題対策議員連盟(仮称)の再構築 3) 地方議会、行政等との情報交換	1) ① 地方議員との交流の場を設け、連盟への理解を深める ② 日本看護連盟への職域活動報告をタイムリーにし、情報の共有化及び評価を参考に、地方議会、行政と福岡県看護連盟の活性化を推進する 2) ① 福岡県看護問題対策議員連盟(仮称)の再構築に向けて議員に働きかける 3) ① 福岡県保健師教育大学院化の要望を継続・強化する ② 地方議員の活動を支援する		1) ・看護政策担当議員との交流 ・職域活動評価 2) ・賛同議員数の把握 3) ・要望提出の継続 ・看護を応援する県議・市議・首長の活動把握 ・議会傍聴回数
	目標 5 地方議員の擁立と支援	1) 地方議員候補者の発掘と育成 2) 地方議員との連携強化	1) ① 県議、市(町)議への看護職の立候補者の発掘と支援を行う ② 県、自民党県連が実施している若手育成プログラム等に、積極的に参加できるようにHP等の媒体を駆使し情報提供する 2) ① 看護職を応援する候補者の選挙活動を応援する(推薦状の発行、候補者の後援会名簿集め、政策講演会・決起集会、街頭演説等への協力と参加)		1) ・育成プログラム等の参加者数 2) ・地方選挙での結果 ・看護を応援する県議・市議・首長当選者数の把握
組織力の強化・拡大	目標 1 会員の確保対策	1) 2025年度の会員目標数の設定と目標管理 2) 福岡県看護連盟入会の促進、退会者の防止 3) 若年層、学生会員の確保(青年部との協働) 4) OB支部、OB会の活性化	1) ① 都道府県別会議において「会員確保」について検討し、有効な対策を実行する ③ 各病院の新人オリエンテーションを利用し、看護連盟への理解を深め入会促進につなぐ ④ 「各支部における会員増員の目標値と戦略」を作成し、上半期(9月)と下半期(3月)に目標達成状況を評価する ⑤ 政策セミナー等を通して、連盟活動の理解を深め会員確保に努める ⑦ 対象者別研修を通して、連盟の活動の理解を深め会員確保に努める 2) ① 福岡県看護協会役員の連盟加入を促進する目標値100% ③ 国公立病院や看護系大学等の会員増に向けて、福岡県看護医療機関以外の施設で働く看護職員へ入会を働きかける ⑦ 看護大学・看護専門学校教員への入会を学校訪問し働きかける 3) ① 看護基礎教育の教育内容に「看護政策」を取り入れるよう働きかける ③ 実習施設や研修施設において看護学生に働きかけ、学生会員の入会を促進する 4) ① 福岡県看護連盟OB会の組織化を検討する	② ハンドブックを利用し、看護連盟への理解を深め入会促進につなぐ ② 福岡県看護協会会員の連盟加入率を3%UP(20%)にする ④ 福岡県看護連盟会長、福岡県看護協会会長と協働で施設訪問し入会促進を図る ⑥ 未加入者の多い施設の看護管理者との交流の機会を作る ⑥ 定年退職者、産休・育休者、中途採用者の入退会状況の調査分析を行い入会を働きかける ⑥ 連盟役員等が講演や講義の機会に、看護政策や看護連盟について必要な情報を提供する ④ 青年部委員会で見守る看護学生を対象とした基礎研修の在り方を検討する ② 支部が協力し合いながら地区ごとに交流会を企画する	1) ・会員目標数7,900人(2025年3月末7,167人) ・研修会出席状況 2) ・会員数の増加の有無 ・福岡県看護協会会員の連盟入会率を20%(福岡県看護協会17%、全国平均23%) ・入会者数(新規、再入会)、新規入会施設数 ・継続入会者数、継続数 ・賛助会員数 ・教員入会員数 ・定年退職者、産休・育休者、中途採用者の入退会状況 3) ・看護教育機関における実績 ・20～30代の入会員数の増加状況 4) ・OB会支部設置 ・OB会交流会開催実績
	目標 2 看護連盟の活動の強化及び周知徹底	1) 日本看護連盟と福岡県看護連盟との連携強化 2) 自律した会員の育成を目指した研修の推進	1) ① 日本看護連盟会長及び中央役員会、各種委員会、日本看護都道府県別会議に参加し県の特性を生かした会員確保を検討 2) ① 未入会者及び連盟会員に対し、対象別研修に沿った各支部研修 ③ 基礎研修資料福岡版を新入会員・未入会者層の研修や集会用に活用する	協会政策情報などをタイムリーに各支部役員へ発信するし活動強化に繋ぐ ② オンラインツールの活用を促進し、効果的・効率的な会議・研修を企画する	1) ・発信状況の実績 ・都道府県別会議受講者の把握(福岡県看護協会役員、青年部参加状況) 2) ・会議・研修等の実績 ・オンライン活用実績
	目標 3 支部組織の強化・促進	1) 支部組織活動の強化及び支部役員・リーダーの意識強化 2) 各支部会員のモチベーション強化	1) ① リーダー研修を実施し支部役員や支部リーダーへの役割、意識 ② 「対象者別研修の標準的枠組み」に沿った教育計画を立案、支部長・施設連絡員・病棟リーダー間の連携とチームワークの強化を支援する ④ 支部運営マニュアルの整備を行い、支部役員の役割を明確にし、交流を深める ② 地方議員による看護体験を企画・実施する	価値を強化する 部組織活動を意識した人材育成を実施する 化を支援する リーダーの育成や支部の円滑な活動を支援する	1) ・対象別研修の実施状況 ・アンケート調査 2) ・集会、研修会への参加者数及び交流 アンケートの結果
	目標 4 看護連盟・看護協会との連携・協働のさらなる推進	1) 福岡県看護協会との連携強化	1) ① 「ブロック別合同会議」に福岡県看護連盟会長と福岡県看護福岡県看護協会総会・福岡県看護連盟総会に協会長・連盟会長 ④ 福岡県看護協会と福岡県看護連盟合同(会長・役員)で看護協会会長が参加し、活動内容の情報共有と選挙活動、会員確保等の共同体制について検討する が相互に参加する ③ 「ブロック別看護政策セミナー」に福岡県看護協会会長及び役員の参加を促す 政策を協議、要望書等を作成し行政・県議団へ提出する		1) ・福岡県看護協会理事及び会員の連盟入会比率の向上 ・看護職の投票率の向上 ・安全な政治活動、選挙協力の実施
	目標 5 看護連盟の効率的な組織運営	1) 福岡県看護連盟の規約に基づいた効率的な運営 2) 福岡県看護連盟22支部と連携した効果的な運営 3) 財政等の健全化と適正化	1) ① 内部ガバナンス(統治)及びコンプライアンス(法令順守)に ② 効率的な運営を行うために規約検討委員会等を設置する 2) ① PDCAプロセスに基づいた行動計画に沿って実践・評価し、課題を明確にする ② 諸会議(通常総会、三役会、県役員会、総合役員会、青年部委員 3) ① 費用対効果を会議日、事業費、政治活動、選挙運動等の費目別に見極め、費用を効果的に運用し活動化を図る	基づく組織運営を行うために新任役員研修や新入会者研修を開催し、組織力の強化を図る	1) ・新任役員研修会、新入会者研修開催 ・出席状況及び、情報交換GWの継続 ・設置の有無 2) ・役割分担に従って職務を果たす ・行動計画に沿った実践、評価、課題 3) ・収支監査及び事業監査、役員の意見
	目標 6 若手会員の育成	1) 若手会員の活性化の促進 2) 青年部活動の基盤づくりの促進	1) ① 全国青年部代表者ミーティングに参加を奨める ③ 自民党が実施する青年部研修会等に積極的な参加を奨励する 2) ① 第12回ポリナビワークショップin福岡を開催し、若手会員の入会を促進する ③ 各種研修会や看護学校での研修等の講師として活動できる ⑤ 情報共有ツールの活用を促進し、ブロック内8県の青年部活動を共有する	② 九州ブロック協議会開催の研修会に参加する ② 青年部支部移行に向けての支援と理解促進を推進する ④ 教育機関の協力を得て学生会員の入会促進を支援する	1) ・集会、研修会、協議会への参加者数及びアンケート調査の結果 2) ・若手会員の入会数、促進実績 ・自民党福岡県連政治塾参加者の修了 ・学生会員数の増加
	目標 7 広報活動の強化充実	1) 会員に向けた広報活動の充実・強化 2) インターネットを活用した有効な情報発信	1) ① 機関誌を2回/年の発行を試みる ③ 広報委員会を6回/年開催し、活動の方針、具体策を検討し、広報活動を推進する ⑤ HP「これって知っている?」「私のイチオシ」への投稿を推進する 2) ① 諸研修会、諸集会で看護職国会議員のビデオメッセージが上映 ② 看護職国会議員の知名度向上を推進するため、公式HPやWEB ③ WEB版アンフィニ掲載のトピック記事は、HPでタイムリーに	② 上記①に伴い、ホームページ等情報媒体の円滑化を図り編集活動を工夫する ④ 福岡県看護連盟HPの更新頻度を増し、連盟活動及び政策提言活動等の情報を迅速に発信する 報活動を推進する されることの周知 版アンフィニ、SNS等のタグ付けを会員に周知徹底を図る 情報発信する	1) ・広報活動の状況 ・情報媒体の工夫 ・機関誌内容等アンケート調査 ・HPのアクセス数の増加 2) ・上映回数と知名度の相関調査 ・アンケート調査
	目標 8 社会変化に即応するためのDXの推進	1) 業務効率化や災害等の不測の事態に備えるデジタルインフラ基盤の推進 2) 各種会議及び研修事業における安定的なオンライン運用 3) SNS及びデジタルを活用した効率的な活動の推進	1) ① 日本看護連盟と福岡県看護連盟のデータ共有に向けて、クラウド 2) ① ZOOMプロライセンス契約を継続し、支部での活用を推進する 3) ① SNSアカウントの運用を促進する(フェイスブック・Xの活用)	ドの活用に協力する ② ハイブリッド形式の研修会や常設委員会のオンライン化を促進する	1) ・データ蓄積状況 2) ・研修会開催実績と参加 3) ・SNSアカウントの運用実績
	目標 9 ブロック協議会の活動の強化・促進	1) ブロック協議会の活性化	1) ① ブロック協議会へ参加し、活発な情報交換と共有を図る		1) ・ブロック協議会内での課題の共有化
	目標 10 関係団体・関係組織との連携・強化	1) 福岡県看護協会以外の関係団体との交流促進	1) ① 医療関係団体との交流の機会をつくる ③ 支援団体・支援企業所属の関係者に賛助会員への入会を勧める	② 支援団体・支援企業との交流の機会をつくる ④ 福岡県鍼灸マッサージ師連盟との提携を更新し、連盟会員の福利厚生の一助とする	1) ・交流の機会が持てたか ・賛助会員数の増加 ・看護系要望団体役員の入会数の増加
会員の福祉の充実	目標 1 災害への対応	1) 災害発生地への支援	1) ① 災害時の情報発信をする ③ 災害見舞い支援金等の申請手続きを迅速に行う	② 情報収集をタイムリーに行い、本部に速やかに伝え、被災地の現場の声を国会議員に届け支援協力を要請する	1) ・実施状況
	目標 2 福利厚生への対応	1) 日本看護連盟及び福岡県看護連盟内規に基づく対応	1) ① 福岡県看護連盟会長等の表彰を行う ③ 物故者への対応を行う	② 日本看護連盟名誉会員・叙勲等受賞者への対応を行う ④ 慶弔等への対応を行う	1) ・実施状況
	目標 3 諸問題への対応	1) 福岡県看護連盟会員の安全の保証	1) ① コンプライアンスに基づく政治活動、選挙運動のための情報 ② 諸般の疑問や問題発生の際は、速やかに日本看護連盟へ情報交換を行う 提供し、専門家や顧問弁護士と相談し、速やかに解決する		1) ・選挙運動違反防止、タイムリーな情報共有 ・規約・細則の見直しや組織運営上の諸問題の対応

退任役員 お疲れ様でした



福岡5-2 幹事長

荒木 美和子

幹事長として2年間務めさせて頂きました。連盟は看護の実態と未来を語る場として重要な位置にあると思います。今後も一会員として活動を続けます。



北九州2 幹事長

里田 佳代子

北九州2支部の幹事長を2年務め、看護連盟の意義について再認識致しました。楽しい仲間も出来ました。



北九州5-2 幹事長

木村 文男

北九州6支部へ支部変更となった初年度ですが、この度幹事長退任となりました。今後も支部の連携を含め連盟活動に尽力いたします。



筑後1-2 支部長

古賀 江美

支部長としての経験を胸に、今後も看護連盟を支える一員として関わってまいります。ご支援に感謝いたします。



筑後2 幹事長

田島 小百合

2年間、皆様からの温かいサポートを受けて任期を満了することができましたことを、心より御礼申し上げます。ありがとうございます。



北九州2 支部長

恒岡 美恵

看護連盟の活動が分からず皆様に支えて頂き、3年間の任期を終えることが出来ました。ありがとうございました。



北九州5-2 支部長

廣重 弘栄

1年での退任となりましたが、今後も、連盟活動に協力させていただきます。ありがとうございました。



筑豊飯塚病院 幹事長

姫野 美佐子

幹事長として活動し多くの貴重な経験をさせて頂きました。今後も連盟活動に取り組んでいきたいと思っています。



筑後1-3 支部長

梅木 智美

皆様に支えて頂き、楽しく活動ができました。今後も、看護職が安心して働き続けられる社会を目指します。



新任役員 よろしくお祈いします



福岡5-2 幹事長

藤武 真理子

この度、支部幹事長をさせて頂きます。連盟の皆様と共に看護職の今後に向けて前向きに活動したいと思っております。



北九州2 幹事長

林田 仁美

この度、北九州2支部の幹事長に就任いたしました。支部長と共に連携を深め看護政策実現のために活動していきたいと思っています。よろしくお願いします。



北九州6-2 幹事長

安東 睦子

この度、北九州6-2支部の幹事長を拝命いたしました。学びながら支部の活動を盛り上げていきたいと思っています。



筑後1-2 支部長

白水 由美香

看護連盟の活動と必要性を1人でも多くの方に知っていただけるように努め、看護の力を届けたいと思います。



筑後2 幹事長

前島 文子

今回、筑後2支部の幹事長を拝命いたしました前島文子と申します。少しでも看護の声を届けられるように努力したいと思います。



北九州2 支部長

谷口 啓臣

この度、北九州2支部支部長を拝命いたしました。支部の皆様と協力して連盟活動に取り組んで参りたいと思います。よろしくお願いいたします。



北九州6-2 支部長

三輪 ゆかり

このたび北九州6-2支部長を拝命した産業医科大学病院の三輪と申します。新設された支部と看護連盟の絆が深まるよう活動して参ります。



筑豊飯塚病院 幹事長

溝田 智美

この度、筑豊飯塚病院の幹事長に就任いたしました。支部の皆様と協力し活動して参ります。よろしくお願い致します。



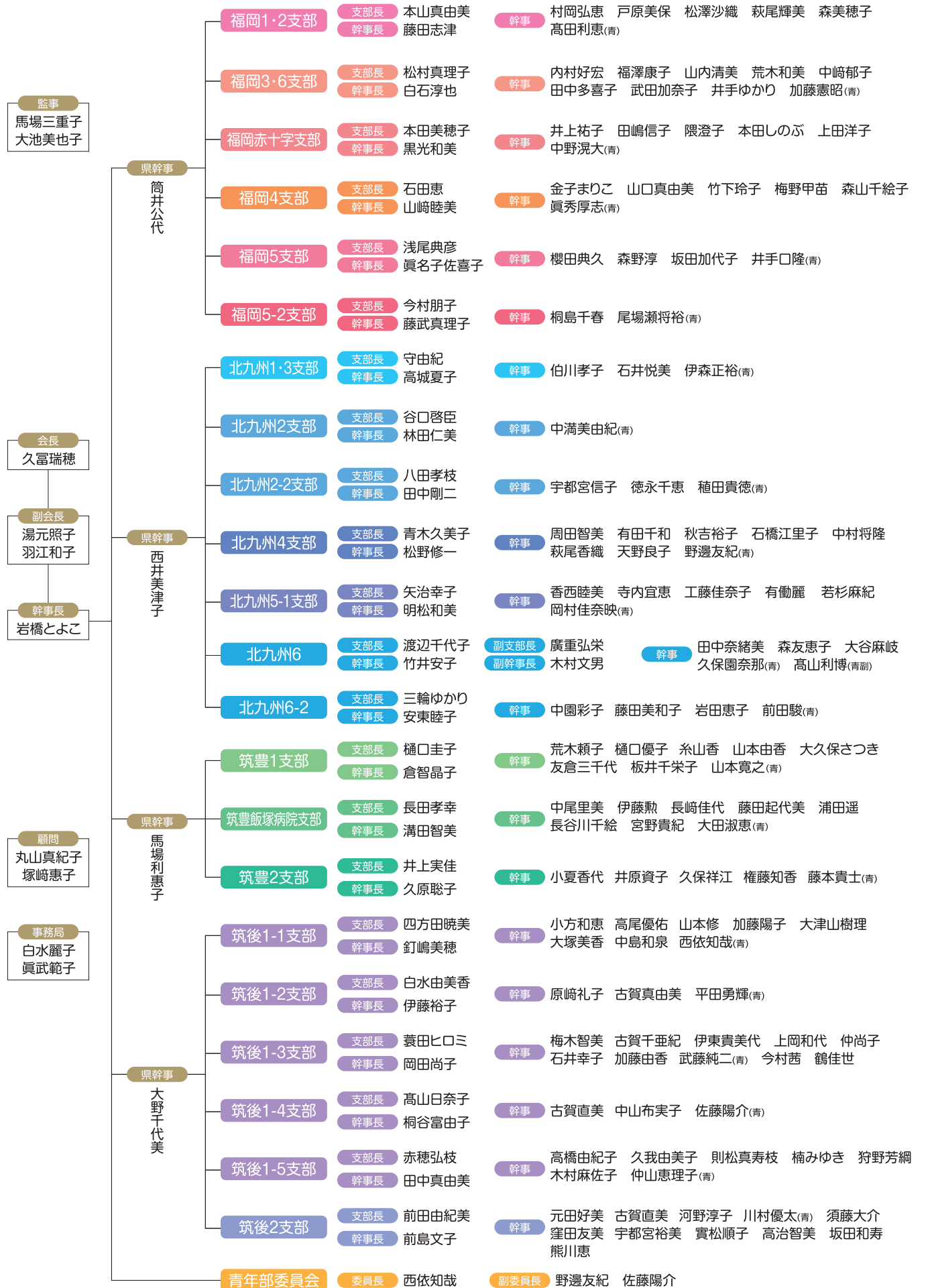
筑後1-3 支部長

蓑田 ヒロミ

この度、筑後1-3支部の支部長を拝命しました。支部の皆様と力を合わせて、看護政策実現のために活動して参ります。



福岡県看護連盟組織図(2025年8月現在)



Report

議員の
活動状況

衆議院議員 あべ俊子



いつも大変お世話になり、ありがとうございます。昨年に引き続き、第二次石破内閣文部科学大臣として日々、文科行政に取り組んでいます。今国会では「公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法（給特法）の改正案」、「大学等における修学の支援に関する法律（大学等修学支援法）の改正案」が可決されました。学校における働き方改革の推進と



大臣室



本会議

教員の処遇改善や、多子世帯の学生への大学等の授業料等減免制度が創設されることとなりました。これまで、医療的ケア児への対応、看護教育のあり方等に取り組んできた実績を生かし、現場の声を政策につなげて「誰も取り残さない」教育の実現に努めて参ります。

これまで同様、看護は、命を慈しみ、大切な人を護る素晴らしい仕事であると、次世代に伝えられるように、看護職の地位向上や環境改善にも、皆様と共に全力で取り組んで参ります。引き続きご指導ご支援よろしくお願い致します。

※選挙後の国会議員は、機関誌利用して当選に関する挨拶行為をすることができません（公職選挙法第178条）。
石田昌宏議員には、これからの看護政策に取り組む抱負を語っていただきました。

Report

「良い看護」を
実感できる社会へ。

参議院議員 石田まさひろ



福岡県看護連盟の皆様には、日頃より温かいご支援を賜り心より御礼申し上げます。酷暑や荒天の中でも、変わらぬ期待と声援をいただけることが大きな支えとなっております。これからも、国政の場において看護・医療・福祉政策に全力で取り組んで参ります。



看護問題対策議員連盟・決議文を厚労大臣へ手交

病院や介護施設の経営は厳しさを増し、医療・介護体制はかつてない危機に直面しています。この現状を打開するためには、物価高騰や人件費上昇に対応した診療・介護報酬の大幅な引き上げが必要です。それは、現場の皆様が「このまま看護を続けていきたい」と思える処遇と環境を整えるために欠かせない取り組みでもあります。

こうした施策を通じて、皆様が「今日も良い看護ができた」と実感できる職場づくりを目指しています。その実現に向けて、人員確保、業務の効率化等を進め、看護の「量」を守りながら、「質」の向上にも力を尽くして参ります。

今後も現場の声を国政に届けて参りますので、引き続きのご支援を賜りますようお願い申し上げます。



個人演説会にて

Report

看護の現場の声を 国政へ!

参議院議員 友納りお



福岡県看護連盟の
皆さま、こんにちは!

内閣府大臣政務官
を拝命してから10か月
が経過しました。これ
までの国会議員として
の活動に加え、多くの
公務が入り、忙しさは
さらに増しましたが、
政府の一員として国の政策にかかわることのできる貴重な
日々を過ごしています。担当大臣に代わり早朝の官邸での
会議への出席、衆議院・参議院の委員会における与野党
議員からの質問に対する答弁、内閣府主催の会議や
イベントへの出席など国会内外で様々な活動をしています。



厚労委員会での石田先生の質問への答弁



看護連・厚労大臣申し入れ

また、看護職代表の国会議員として、処遇改善、人材
確保、働く環境の整備、ハラスメント対策、業務効率化など
私たちを取り巻く様々な問題には常に取り組んでいます。
今年の政府の「骨太の方針」に多く盛り込まれたこれらの
問題に対する要望を看護問題対策議員連盟で福岡厚生
労働大臣に申し入れも行いました。

皆さまの現場の声を聞きながら、国政に届けてまい
ります。引き続き、ご支援をよろしくお願い致します。

Report

新たな 気持ちで

那珂川市議会議員 ひじ英治



私事ではありますが、今年の3月に行われた那珂川
市議会議員選挙におきましては、皆様方のご支援に
より当選を果たすことができました。また、4月からは
議長に就任し、3期目の活動を始めることができました。
この重責に身の引き締まる想いですが、市民の
皆様方に寄り添い、市政を謙虚に機能させることに
尽力して参る所存です。現在は、様々な団体の皆様方
とお会いしてご意見を直接お聞きする機会が増え、

学びが深まっていると実感しています。医療や看護に
直接結びつく事ばかりでは有りませんが、様々な課題の
解決に取り組んで参ります。連盟の皆様方におかれ
ましては、これまで以上のご指導ご鞭撻を賜りますよう
お願い申し上げます。



会合でのご挨拶

Report

有意義な 防災研修

遠賀町議会議員 野口久美子



毎日酷暑と思いきや急に大雨になったり異常気象の
毎日です。

遠賀町中央公民館で令和7年7月17日に開催された
「大切な命を守る防災の取り組み」に防災クラブの一員
として参加しました。遠賀町は川に囲まれ、海も近く
大洪水や地震に対する備えが必要ですが、いつか災害
はくるだろう?対策は取らねばならないが今日でなくて

よいだろう?と安易な気持ちで日々の忙しさにかまけて
いました。実際に講師の先生の被災地支援の経験や、
実際の備蓄品をみたりして、地震対策として①緊急地
震速報対応②転倒防止③備蓄品の準備のこの3つを
徹底したいと思いました。参加したみんなで声かけあつて
大切な命を守っていこうと決意した有意義な1日でした。



防災研修



自由民主党比例代表候補者得票数

		氏名	得票数	年齢	新旧	当選回数	代表的肩書
1	当	舞立 昇治	特定枠	49歳	現	3回	参院農水委員長
2	当	福山 守	特定枠	72歳	新	1回	(元)環境政務官
3	当	犬童 周作	482,058	57歳	新	1回	(元)総務省審議官
4	当	山田 太郎	381,185	58歳	現	3回	(元)内閣府政務官
5	当	見坂 茂範	218,072	57歳	新	1回	(元)国交省職員
6	当	東野 秀樹	187,946	53歳	新	1回	(元)農協会長理事
7	当	橋本 聖子	176,404	60歳	現	6回	(元)五輪相
8	当	金蒔 敏	174,434	72歳	新	1回	日医副会長
9	当	有村 治子	166,025	54歳	現	5回	(元)女性活躍相
10	当	石田 昌宏	152,649	58歳	現	3回	(元)参厚労委員長
11	当	本田 顕子	152,518	53歳	現	2回	党女性局長
12	当	鈴木 宗男	132,633	77歳	元	2回	(元)参懲罰委員長
13		佐藤 正久	127,619	64歳	現	3回	党幹事長代理
14		宮崎 雅夫	127,001	61歳	現	1回	(元)農水政務官
15		山東 昭子	126,381	83歳	現	8回	(元)参院議長
16		岸 博幸	110,391	62歳	新	0回	(元)内閣官房参与
17		赤池 誠章	102,834	64歳	現	2回	党政調副会長
18		比嘉 奈津美	101,975	66歳	現	1回	(元)参厚労委員長
19		田中 昌史	88,432	59歳	現	1回	理学療法士
20		阿部 恭久	88,368	66歳	新	0回	遊技場会社経営
21		宮窪 大作	80,326	50歳	新	0回	建設会社社長
22		中田 宏	79,307	60歳	現	1回	環境副大臣
23		杉田 水脈	77,040	58歳	新	0回	(元)総務政務官
24		和田 政宗	64,665	50歳	現	2回	参院内閣委員長
25		斉藤 正行	52,988	47歳	新	0回	介護会社代表
26		繁本 護	45,406	52歳	新	0回	(元)衆院議員
27		長尾 敬	34,948	62歳	新	0回	(元)内閣府政務官
28		中田 フィッシュ	26,738	39歳	新	0回	プロダンサー
29		斉藤 里恵	24,780	41歳	新	0回	(元)東京都議
30		畦元 将吾	19,540	67歳	新	0回	(元)厚労政務官
31		藤田 誠	9,366	52歳	新	0回	IT会社社長

※参考資料：読売新聞オンライン

石田まさひろ
都道府県別得票数

都道府県	得票数	都道府県	得票数
北海道	2,149,755	滋賀県	808,883
青森県	1,077,742	京都府	1,699
岩手県	1,309	大阪府	2,997,860
宮城県	2,526,600	兵庫県	4,354
秋田県	2,380,844	奈良県	1,831
山形県	1,205,863	和歌山県	1,316,975
福島県	5,636,968	鳥取県	1,067,983
茨城県	4,588,848	島根県	1,901
栃木県	4,802,979	岡山県	4,770
群馬県	2,790,893	広島県	6,062
埼玉県	4,423	山口県	2,261
千葉県	4,585	徳島県	1,434
東京都	6,347,862	香川県	2,519,991
神奈川県	5,667	愛媛県	3,855,992
新潟県	4,282,976	高知県	818
富山県	3,567	福岡県	3,989,920
石川県	2,026	佐賀県	1,019
福井県	4,366	長崎県	5,442,982
山梨県	1,698	熊本県	5,749
長野県	4,062	大分県	1,986,953
岐阜県	3,745,995	宮崎県	1,454
静岡県	6,300	鹿児島県	2,924,958
愛知県	6,550,878	沖縄県	3,224,531
三重県	3,068,872	合計	152,649,103

※総務省公開資料

投票率(比例代表)

全国	福岡県
58.51%	55.65%

後援会入会者数

	親会員	子会員	合計
一般	13	113	126
会員	4,897	10,012	14,909
合計	4,910	10,125	15,035

参議院議員通常選挙を振り返って

自由民主党福岡県支部連合会常任相談役
福岡県議会議員

原口 剣生

福岡県看護連盟の皆様方には平素大変お世話になり、心から感謝申し上げます。先ずは石田まさひろ先生の当選お祝い申し上げます。

選挙戦を振り返って、一番思うことは、昨年の衆議院選挙での政治と金の問題に端を発し自民党の過半数割れからの他党の無理な政策に振り回され、参議院選に突入し、景気回復ガソリン減税、消費税の削減等が問題視され、全体的な社会保障や社会資本整備など国民の思いはやはり医療・介護・福祉などの財源をどのようにして確保していけるか、特に医療の現場は今でも大変だと思われまふ。日頃から看護師の方々の事がお分かりになる石田先生の国会での活躍が期待される所であります。

なぜならば、決起大会での石田先生の発言の一言一言が皆様と同じ思いを持っての言葉だったと感じ、参議院の予算委員会の発言がそのものだと思いました。

これからも、石田まさひろ先生には、看護に携わる方々の代弁者として頑張って頂きたいと思っております。久富会長を始め看護連盟の皆様との発展と私どもを守る仕事をして活躍をご期待いたします。



福岡県議会議員

長 裕海

石田 まさひろ先生ご当選誠にありがとうございます。

今回の厳しい選挙に勝ち抜く為に福岡県看護連盟久富会長をはじめ各会員の皆様そして、看護協会の皆様方がこの猛暑の中ご尽力された結果だと思います。私も、自民党福岡県連前会長の原口先生と共に石田まさひろ先生の担当につかせていただきいろんな方々に声をかけました。

7月12日の石田まさひろ先生の個人演説会での「看護・介護・医療の明るい未来が全ての人々の明日を創る」と力強く主張されたことが私の心に残りました。私は、がん征圧活動をしており早期発見・早期治療を訴えております。それは、誰もががんになる可能性があるからです。まさに「看護・介護・医療」が必要です。石田まさひろ先生におかれましては、今後私たちの思い「健康で安心して住める国づくり」の為に取り組んでいただきますようお願いいたします。

結びに、石田まさひろ先生の益々のご活躍とご健勝を祈念いたします



燃えた選挙戦

私たちの思いが
叶った!!

7月12日(土)
**石田まさひろ
個人演説会**

JR博多シティ会議室

「よい看護」を
実感できる社会へ



看護の力で
日本を元気にする

7月15日(火)
街頭演説

小倉駅ペDESTリアンデッキ

7月16日(水)
街頭演説

博多駅博多口広場



青年部の窓



青年部活動を振り返って

前青年部委員長
宮野 貴紀



令和元年から青年部に加入させていただき、この度任期を満了することが出来ました。青年部に加入させていただき、通常では経験できない様々なことを体験させていただきました。市議会や県議会の見学や県知事へのご挨拶、九州ブロック青年部の皆様との交流、日本看護連盟総会への参加、全国代表者ミーティングでの全国青年部の皆様の交流などたくさんの思い出が

あります。私が青年部として活動した中で一番印象に残ったことは九州ポリナビです。企画を行い、九州全域の青年部の皆様と協力し、会を成功させることが出来たのは私の一生の宝物です。任期は終わりましたが、活動は終わりではありません。今後は皆様を支えることが出来るように活動を続けていきます。そして、私が青年部として活動することが出来たのは職場の皆様、福岡県看護連盟の皆様、青年部の皆様、そして会員の皆様が支えてくださったおかげです。本当に6年間ありがとうございました。

新青年部委員長としての抱負

青年部 委員長
西依 知哉



筑後1-1支部で青年部幹事として活動しておりました西依知哉と申します。この度は福岡県看護連盟の青年部委員長に就任させていただくことになりました。青年部の活動内容としては、看護職が政治・政策について学び、考える場としてPolitician Navigator's Network (ポリナビ)を企画したり、学生会員獲得に向けた活動などに取り組んでいます。「政治」と聞くと苦手意識を

感じる方もいるかもしれませんが、私もその1人でした。しかし、看護連盟の活動を通して現場の問題解決のためには看護職国会議員との連携が必要不可欠だということを学びました。そのため、若い世代が中心となって看護職国会議員と看護職の処遇改善を目指して取り組んで行くと同時に、看護職の方や看護学生に対して看護連盟の活動への理解が深まるように取り組んでいきたいと思っています。そして、看護の未来が明るく、子ども孫の世代まで誇れる仕事であり続けることを目標に頑張っていきたいと思っています。どうぞ宜しくお願い致します。

全国青年部代表者ミーティング、全国ポリナビに参加して



前青年部委員長 宮野 貴紀

6月7日、2025年度全国青年部代表者ミーティング、全国ポリナビに参加させていただきました。

ミーティングではLastOneMileのテーマでグループワークを行い、①政治活動期間における「継続的な関わり（質の向上）」についての青年部の活動計画の共有、検討、②選挙運動期間における目標達成のための方策検討について話し合いました。私たちのグループでは行動をサウナに例え、熱を伝え、危機感を感じて冷やし、考えを整えてもらうという意見になりました。また、各都道府県の代表者が動画などを作成し、前に出てアピールをしていこうとなりました。

全国ポリナビでは各都道府県青年部が作成したショート



動画を用いて模擬選挙を実施しました。選ばれた動画はインパクトがあり、全国青年部の熱量を感じることができました。模擬選挙でドント方式について学び、投票の重要性について学ぶことができました。

この学びを今後の活動に活かしていこうと思います。興味を持たれた方は是非青年部と一緒に活動していきましょう。

一看護政策推進のためにー

2025年6月29日(日) 福岡リーセントホテルにて

講師:石田まさひろ先生

看護政策推進のための講演会に、熱く赤い情熱をもって参加しました！

先生は、「現場の声を聴き、どうすれば看護職がよりよい看護ができるか考えること、そして看護職1人ひとりの力が最大限に発揮できれば、看護・介護・医療の明るい未来に繋がり、それはすべての人々の明日を創ることになる」と力強く講演されました。この言葉に感動、共感、実感、身体が沸き立ちました。

さあ この言葉に、青年部の**若き熱い声**を加えて、さらに大きなパワーにして 未来に向かって POWER ON！

Power on!



青年部の
若き熱い声

私たちも心から
応援しているわよ



北九州1・3支部

支部長 守 由紀

私たち北九州1・3支部は、主に門司掖済会病院・九州鉄道記念病院・東和病院の3施設で活動しています。小倉南区・門司区・京築地区の一部を有しており、範囲は大きいですが会員数は小規模です。近隣の他支部と合同で研修会を開催しており、支部同士の横の繋がりのおかげで支部活動を行っています。支部長・幹事長・幹事3名(青年部含む)の計5名で3か月ごとに支部会議を行って、現会員数保持を目標に活動しています。今年度は、新規会員獲得も視野に入れ、活動内容を支部会議で考えていきたいと思っております。そのためには、総合役員会などで他支部の活動状況や青年部の取り組み

ををきちんと知り、支部に伝えること(=正しい情報伝達)が重要と考えています。また自施設においても、支部研修や基礎研修を通して、繰り返し連盟活動内容・必要性を伝えることで、少しずつ理解が広がると期待して今後も地道に支部活動を続けていきます。



北九州2支部、2-2支部との合同研修会

北九州2支部

支部長 谷口 啓臣

北九州2支部は現在、7施設、会員数149名です。近年会員数の維持が喫緊の課題となっています。役員は昨年度5名、今年度3名と少数ですが、北九州1・3支部、2支部、2-2支部の皆様と協力させて頂き活動しています。昨年2回、合同研修を実施しました。1回目は東洋羽毛、睡眠健康指導士の東郷順一先生に、【睡眠】のテーマで、質の良い睡眠、より良く眠るためのポイント・工夫など講義頂きました。変則勤務の多い看護師の仕事において睡眠は大切な要素であり自身の睡眠を振り返ることができました。2回目は未来資産コンサルティング株式会社 明春春先生に【人生100年時代に備える資産形成!】をテーマに講義頂きました。老後資金やNISA・iDeCoなど、とても分かりやすく話して頂き盛況な研修となりました。

二つとも有意義な研修となっていたという意見を多数いただきました。参加者の興味を引くテーマの研修会を今後も協力して企画・実施していきたいです。また若い年齢層の方々へ看護連盟活動の大切さを知ってもらえるように基礎研修にSNSを活用するなど工夫をして一人でも一緒に活動できる仲間を増やしていきたいと思います。



会員募集中! 入会のご案内



会員のあなたが会員を増やしましょう!
それが「看護連盟の力!!」

あなたの力が連盟活動を支えます

看護連盟は看護職代表を国政の場に送り、看護と国民の健康・福祉の問題解決を推進しています。

連盟本部 5,000円 + 福岡県連盟 2,500円 = 年会費 7,500円

賛助会員・OB会員募集 年会費 1,000円

随時
受付中!!

福岡県看護連盟

TEL: (092) 631-1162 FAX: (092) 631-1164
kangorenmei-fukuoka@ace.ocn.ne.jp

●ホームページも是非ご覧ください!

<http://www.fukukanren.jp/>

福岡県看護連盟

学生会員募集

会費
無料

保健師、助産師、看護師または准看護師の資格を得るために就学している学生で、看護連盟の主旨に賛同いただける方を対象としています。ご入会いただきました学生会員の方には、日本看護連盟の広報誌やメールマガジンをお届けいたします。

編集後記

編集長 羽江 和子



酷暑の夏が過ぎ、9月になってもまだまだ暑く、このまま秋を感じる間もなく冬を迎えるのでしょうか?食欲の秋、読書の秋などと、秋を満喫する言葉は、今後、違う響きの言葉に変化していくかもしれませんね?

さて、今回の「あい&あい」は、2025年度福岡県看護連盟通常総会と、第27回参議院議員通常選挙を主に編集しました。福岡県看護連盟のあゆみを、「あい&あい」のページをめくりながら、感じて頂けたらと思います。



ところで、機関誌「あい&あい(愛&会)」の名称は、看護の原点である「愛」と、人との「出会い」「ふれあい」を大切に、看護連盟のネットワークの絆を強めたいという思いからつけられています。地球や社会環境がどのように変化しても、この「あい&あい(愛&会)」という普遍の言葉と心を大事にして、みなさんの「あゆみ」をしっかりと編集し続けていきたいと思っています。さあ 皆さん、看護の声を、私たちの未来に届けるために福岡県看護連盟活動を、共に力強く歩んで活きましょう!!

最後にお詫びですが、機関誌「あい&あい」は、年3回発行してきましたが、今年度より、広報の在り方を検討し、年2回の発行にさせていただきます。「あい&あい」を楽しみに待って下さっている皆様にお知らせするのが遅くなって大変申し訳ございません。今後、皆様のお声を聞きながら、「あい&あい」の発行については検討し続けていきたいと考えておりますのでどうぞよろしくお願いします。

ご忌憚のないご意見など頂けたら幸いです。